

令和7年度

第2回高崎市倉渕地域振興協議会次第

日 時 令和8年1月13日(火)

午後1時30分～

場 所 倉渕支所3階 公民館活動室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

(1) 倉渕地域に関わる事業報告

(2) 倉渕地域のまちづくりに関する意見について

4 閉 会

<配布資料>

資料 1	倉渕地域に関わる事業報告一覧
------	----------------

資料 2	倉渕地域のまちづくりに関する意見一覧
------	--------------------

参考資料	令和6年度高崎市決算の概要
------	---------------



## 倉渕地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所属 (支所)
1	くらぶち英語村運営事業	企画調整課
2	くらぶち小栗の里指定管理事業	観光課 (地域振興課)
3	移住・定住を促進するための取り組み	建築住宅課 (農林建設課)  企画調整課 (地域振興課)
4	簡易水道整備事業	水道局 経営企画課 (農林建設課)
5	障害者農業就労施設運営事業	障害福祉課



## 倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	くらぶち英語村運営事業	所属 (支所)	総務部 企画調整課
実施期間	平成 28 年度～	事業の種類	ソフト事業

### 【事業概要】

対 象	市内をはじめとする全国の小学生・中学生		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
旧川浦小の利活用と倉渕地域の活性化等の観点から、全国の小中学生を対象とする英語で生活する山村留学事業を実施する。	旧川浦小跡地に留学生たちの生活拠点となる寄宿舎等を整備。ネイティブスピーカーたちと英語で日常生活を送る中で、実践的な英語力を身に付けてもらう。	平成 30 年3月に寄宿舎竣工。 平成 30 年4月より通年コース開設。週末コース、短期コースを合わせた3つのコースで留学生を受け入れ。	

### 【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績
合計	173,267	173,257	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年コース 22 名(小学生 9 名、中学生 13 名)が通年コースを修了。</li> <li>・週末コース 年間 10 回開催し、のべ 206 名が参加。</li> <li>・短期コース 夏休みは3泊4日、4泊5日、5泊6日を各1回開催し、計 60 名が参加。 冬休みは3泊4日で1回開催し、22 名が参加。</li> <li>・令和 7 年度通年コース留学生募集 74 名の申し込みがあり、体験留学、親子面接を経て、15 名を新規留学生として受入決定。継続留学生 8 名と合わせて 23 名で開始。</li> </ul>
国			
県			
地方債	35,000	35,000	
その他	45,077	45,541	
一般	93,190	92,716	

### 【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和7年度事業進捗状況
合計	171,779	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年コース 留学生は 23 名(小学生 9 名、中学生 14 名)。うち 8 名が継続留学生。</li> <li>・週末コース 現在までに 8 回開催し、のべ 162 名が参加。残り 2 回開催予定。(定員各 20 名)</li> <li>・短期コース 夏休みは3泊4日、4泊5日、5泊6日の3回開催し、計 61 名が参加。冬休みは3泊4日の1回開催し、22 名が参加。</li> <li>・令和 8 年度通年コース留学生の募集 58 名の申し込みがあり、体験留学、親子面接を経て、本年1月下旬に新年度留学生を決定する予定。</li> </ul>
国		
県		
地方債	35,000	
その他	44,772	
一般	92,007	

## 倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	くらぶち小栗の里指定管理事業	所属 (支所)	商工観光部 観光課 (倉渕支所地域振興課)
実施期間	平成 26 年度～	事業の種類	ソフト事業

### 【事業概要】

対 象	市民、観光客		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
市民や観光客が、憩い楽しめる倉渕地域の情報発信基地の要素をもった拠点施設を整備し地域の活性化を図る。	民間事業者等のノウハウ活用を目的とした指定管理者制度を活用し施設の管理運営を行う。	平成26年4月4日 道の駅登録(高崎市初) 平成26年4月26日 「くらぶち小栗の里」オープン	

### 【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績	
合計	19,000	19,000	年間入場者数	502,110 人
国			多目的ホール等の施設利用者数	2,776 人
県			令和6年度末までの累計入場者数	5,835,372人
地方債				
その他				
一般	19,000	19,000		

### 【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和7年度事業進捗状況	
合計	19,000	年間入場者数 407,110人 ※令和7年12月1日現在 多目的ホール等の施設利用者数 3,404人 累計入場者数 6,242,482人	
国		・実施事業	
県		5月12日～ 小栗まつり企画展	
地方債		6月 8日 シリーズ高崎寄席「新緑の会」	
その他		7月 5、6日 倉渕親子自然体験ツアー	
一般	19,000	8月10日 くらぶちの夏祭り	
		10月11日～ 小栗上野介企画展	
		11月22・23日 くらぶちやまなみ祭	
		12月21日 0才から聴けるクリスマスコンサート	

## 倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	移住・定住を促進するための取り組み	所属 (支所)	建設部 建築住宅課 (倉渕支所農林建設課) 総務部 企画調整課 (倉渕支所地域振興課)
実施期間	移住促進資金利子補給金制度:平成 28 年度～ 空き家緊急総合対策事業:平成 26 年度～ 住環境改善助成事業:平成 23 年度～	事業の種類	ソフト事業

### 【事業概要】

対 象	倉渕・榛名・吉井地域		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
倉渕・榛名・吉井地域の人口減少対策の一環として、同地域の移住・定住を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進資金利子補給金制度</li> <li>・空き家緊急総合対策事業</li> <li>・住環境改善助成事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・定住するための住居取得に際して受けた融資の利子5年分を『高崎通貨』にて全額補給。</li> <li>・空き家の管理、活用を支援し倉渕地域への移住定住を促進。</li> <li>・住環境向上のため改修、修繕等する場合に、かかる費用の最大20万円を助成。</li> </ul>	

### 【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績
合計	345,000	324,816	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進資金利子補給金制度 86 件うち倉渕地域 2 件(令和6年度認定者)</li> <li>・空き家緊急総合対策事業 223 件(倉渕地域 5 件) 制度 1 管理費用の一部助成 85 件(倉渕地域 1 件) 制度 2 解体費用の一部助成 112 件(倉渕地域 2 件) 制度 5 空き家家賃の一部助成 12 件(倉渕地域 1 件) 制度 7 定住促進空き家活用一部助成 4 件(倉渕地域 1 件)</li> <li>・住環境改善助成事業 622 件(倉渕地域 5 件)</li> </ul>
国			
県			
地方債			
その他			
一般	345,000	324,816	

※予算・決算額については、市の全体額。

### 【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和7年度事業進捗状況
合計	270,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進資金利子補給金制度 22 件うち倉渕地域 0 件(令和 7 年度認定者)</li> <li>・空き家緊急総合対策事業 212 件(倉渕地域 5 件) 制度 1 管理費用の一部助成 101 件(倉渕地域 1 件) 制度 2 解体費用の一部助成 62 件(倉渕地域 2 件) 制度 3 跡地の管理費用の一部助成 7 件(倉渕地域 1 件) 制度 7 定住促進空き家活用一部助成 4 件(倉渕地域 1 件)</li> <li>・住環境改善助成事業 472 件(倉渕地域 3 件)</li> </ul>
国		
県		
地方債		
その他		
一般	270,000	

※予算決算額については、市の全体額。

## 倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	簡易水道整備事業	所管 (支所)	水道局経営企画課 (農林建設課)
実施期間	平成18年度～	事業の種類	ハード事業

### 【事業概要】

対象	簡易水道整備事業		
実施目的	具体的手段	その他	
簡易水道の安定供給を図る。	簡易水道施設の整備及び維持管理を行う。	簡易水道事業 ・倉渕支所管内5事業 ・箕郷支所管内2事業 ・榛名支所管内8事業	

### 【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績
合計	257,425	242,203	施設整備 ・相間平地区配水管布設替工事(中部)  維持管理 ・簡易水道施設(中部・三ノ倉・川浦・川浦西・相満)
国	—	—	
県	—	—	
地方債	—	—	
その他	—	—	
一般	257,425	242,203	

### 【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	令和7年度事業進捗状況
合計	266,298	施設整備 ・相間平地区配水管布設替工事(中部) ・高野谷戸地区配水管布設替工事(三ノ倉)  維持管理 ・簡易水道施設(中部・三ノ倉・川浦・川浦西・相満)
国	—	
県	—	
地方債	—	
その他	—	
一般	266,298	

※予算額・決算額は、箕郷支所管内と榛名支所管内を含めた数値。

## 倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	障害者農業就労施設運営事業	所属 (支所)	福祉部 障害福祉課
実施期間	令和6年度～	事業の種類	ソフト事業

### 【事業概要】

対 象	障害者		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
市直営の障害者の農業就労支援施設を整備し、利用者(障害者)が自立した生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じて、知識・能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付加価値の高いメロンの水耕栽培を行う就労支援施設を整備・運営し、農産物等の売上は利用者へ賃金として還元することで、自立した生活への一助とする。</li> <li>・農業、障害者支援それぞれに長けた職員を配置し、適切な支援を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型サービス事業所(利用定員20人)として運営を行う。</li> <li>・冬季の水耕栽培施設内の加温には、木質バイオマスボイラーを導入。燃料は地域の間伐材を活用し、山林整備の促進にも寄与し、農業、林業、福祉が連携した事業とする。</li> </ul>	

### 【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算額	令和6年度事業実績
合計	49,235	34,297	6/25 メロン試食会 9/25 開所式 10/1 施設運営開始
国			メロンは相間川温泉及びはまゆう山荘への定期的な出荷に加え、各種イベント(くらぶちの夏祭り(8/11)、ラフェスタカラスガワ(10/12-14)農業まつり(11/16、17)、高崎国際オープンテニス(11/18-24)及びくらぶちやまなみ祭(11/23))にも出荷しPRを実施した。
県			
地方債			
その他	20,227	1,492	
一般	29,008	32,805	

### 【事業進捗状況】

区分 (千円)	現計 予算額	令和7年度事業進捗状況
合計	46,553	<p>施設利用者の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロン栽培(交配・収穫・出荷準備・清掃)の実施。</li> <li>・小栗の里での販売体験により、お客さんとの触れ合いを通して、多くの利用者が仕事への自信をつけた。</li> <li>・モルック体験や英語村への訪問で地域との交流を実施。</li> <li>・倉渕町内の清掃活動(公園や道路など)を定期的実施。</li> </ul> <p>メロンの販売及びPR活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月25日から小栗の里及び高崎オーパで個人向けに試験販売を開始。</li> <li>・はまゆう山荘及び相間川温泉へ定期販売、やまなみ祭でも販売を実施。</li> <li>・市内のホテルで宿泊客等へカットメロン等を提供してメロンをPR。</li> <li>・高崎国際オープンテニスでのPR活動。</li> <li>・出荷・販売数(令和7年12月1日現在) <ul style="list-style-type: none"> <li>→小栗の里 1,026玉 高崎じまん 115玉 市内宿泊施設 319玉</li> <li>個人を対象として糖度14度以上を厳選して出荷。</li> <li>糖度14度以下のメロンは宿泊施設等に販売。</li> </ul> </li> </ul> <p>➤ 視察・見学の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→県外3件、県内16件 (主に県内外の就労支援施設など)</li> </ul> <p>参考：施設利用状況等(12/1現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○定員20名/利用者数：10人(見学・体験利用は随時受付中)</li> <li>内訳：倉渕町内5名、倉渕町外5名(榛名・箕郷・群馬・新町)</li> </ul>
国		
県		
地方債	8,000	
その他	15,255	
一般	23,298	



# 倉渕地域のまちづくりに関する意見一覧

倉渕支所 地域振興課



■ 倉渕地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意見	回答
<p>1. 小栗上野介大河ドラマ放映に係る対応について</p>	<p>高崎市ゆかりの幕臣、小栗上野介が令和9年の大河ドラマの主人公に決定した。私自身「小栗上野介顕彰会」の一員として長年顕彰活動を行っており、顕彰会としても今後に向けて体制を整えているところである。</p> <p>一方、高崎市では今年度「高崎市小栗上野介プロジェクト推進協議会」を発足し、様々な事業を計画され、既に実行している事業もあると聞いている。</p> <p>そこで、高崎市やプロジェクト推進協議会で現在行っている事業や、今後の事業計画について教えていただきたい。</p>	<p>本市では、2027年のNHK大河ドラマの放映を契機に、小栗上野介の功績を広く知っていただくとともに、倉渕地域のみならず、本市全域の活性化を図ることを目的として、高崎市小栗上野介プロジェクト推進協議会を立ち上げたところである。</p> <p>協議会では、小栗公にちなんだ来訪記念品や土産品を新たに開発する事業者を群馬県内全域から広く募集し、第一弾として「日本酒」「だるま」「トートバッグ」の3商品を認定した。また、来訪記念品・土産品のアイデア募集でいただいた提案を精査し、現在、商品化に向けて事業者と調整しているところである。</p> <p>11月には、横須賀市で開催された「ヴェルニー・小栗祭」にも協議会として初めて参加し、小栗公と関係の深い横須賀市との連携をより深めることが出来た。</p> <p>今後は、小栗公の功績を分かりやすく紹介するパンフレットや動画の制作、ドラマ出演者などをゲストに呼んでのPRキャンペーンの実施、小栗公ゆかりの地観光ツアーの開発、観光ガイドの育成など、小栗上野介の功績やこれまでの顕彰活動、そして地域の魅力をしっかりと伝えられるよう、関係機関等と連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えている。</p> <p>さらに、小栗公の関連する史跡においては、駐車場が少なく、また、通路等の安全確保が困難なことから、高崎市としても、今</p>

後、段階的に整備を進めて行く必要があると  
考えている。

まずは、顕彰慰霊碑の駐車場整備や東善寺  
にある小栗公本墓への通路の手摺工事、姉妹  
観音の移設整備など、来訪者や地域住民が安  
心して利用できるよう、関係団体と協力し環  
境整備を進めているところである。

■ 倉渕地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意見	回答
<p>2. 動画を利用した広報について</p>	<p>高崎市では「広報高崎」や各種 SNS 等を利用し、広報活動を行っている」と承知している。</p> <p>7月に行われた第1回地域振興協議会で YouTube を利用した市の広報が行われていることを知り、現在は定期的に高崎市の公式チャンネルを確認している。</p> <p>動画での事業紹介は文章や静止画では伝わりにくい事業の流れが理解しやすいと感じている。また、実際に市長が事業を体験する「市長編」の動画は再生数が多く、このことは多くの市民が実際の事業の様子を知りたがっているという事の裏付けであるように思われる。</p> <p>このように YouTube 等の動画での広報は非常にわかりやすいと感じているが、様々な広報媒体がある中で、今後どのように広報活動をしていく予定か伺いたい。</p>	<p>本市の取組みを市民の方へ広く周知するため、従来の「広報高崎」や「デジタル広報」に加え、LINE や YouTube、Facebook などの SNS を活用した広報活動を実施している。</p> <p>今年度からは、YouTube による情報発信を強化し、市の独自施策やくらぶちメロン村、危険箇所総点検など、本市が実施する事業を、幅広く紹介するため、担当職員が動画を作成し配信する取組みを実施している。</p> <p>動画を活用した情報発信は、事業内容を分かりやすく伝えることができるため、市民の皆さまに市の取組みを知ってもらうための効果的な方法と認識している。</p> <p>今後も、作成した動画を多くの方に見て、知ってもらうため、公式 SNS やオーパビジョン、群馬テレビなど様々なツールを活用した効果的な情報発信に努めてまいりたい。</p>

■ 倉渕地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意見	回答
<p>3. 倉渕地域のPRについて</p>	<p>昨年6月に「下山メシ高崎編」が放映された。榛名山、榛名湖、湖畔の商店や高崎の果物がドラマの中で紹介され、高崎市のPRとして大変有意義であったと感じている。</p> <p>今後再度同じような番組が放映される際には、倉渕地域を取り上げていただきたいと感じている。烏川の源流を巡り、はまゆう山荘の海軍カレーや道の駅くらぶち小栗の里のお切込みなどの名物料理や、メロン村のメロンなどを食べてもらうなどが良いのではないかと考える。</p> <p>倉渕地域は烏川の源流があり、上流地域は「蛍の里」として知られている。綺麗な水を活かしたお米や様々な野菜の栽培が盛んであり、他にもマスの養殖やイワナ、ヤマメの放流等が行われている。</p> <p>このように倉渕地域は様々な魅力がある地域であり、山、川、水に今まで以上に注目してもらい、PRの切り口としていただきたいと考えている。</p>	<p>「下山メシ高崎編」が放送されてから、数ヶ月経ち、テレビドラマで紹介された下山メシを目当てに多くの方が榛名山に訪れていると聞いており、テレビの影響は非常に大きいものと感じている。</p> <p>はまゆう山荘では、横須賀市公認の海軍カレーを提供しており、大河ドラマ放映決定で脚光を浴びている小栗上野介ゆかりの施設としてPRを行っている。また、今年度は地元の赤鱒やトマトを使用したパスタを開発し、キングオブパスタに初出場した。当日は1,000食以上を提供し、多くの来場者に倉渕食材の魅力や施設のPRを行うことが出来た。出場に伴い、テレビ局の取材を受け、出場の様子は全国に放映された。</p> <p>道の駅では11月から新たにカフェをオープンし、玄米のピザ等地元食材を活かしたメニューの提供を行っている。休日平日問わずカフェを楽しむ人で賑わっており、食堂や直売所を含め倉渕産食材の魅力発信の拠点としての役割を担っている。</p> <p>多くの方が、烏川の源流の倉渕地域に来ていただくことは、倉渕地域の振興にメリットがある一方、鼻曲山は、全国的に珍しい「レンゲショウマ」などの植生地であり、高崎市の水源地でもあることから、倉渕地域の環境保全も大切な課題であると考えている。</p> <p>豊かな自然を観光PRの切り口として活用するとともに、倉渕地域の宝である山、川、水、空気などの資源を守ることを両立できるような施策を研究してまいりたい。</p>

## 令和6年度高崎市決算の概要について

- 1 令和6年度の「一般会計」と「各特別会計」の決算は下表のとおりとなりました。  
 「一般会計」の歳入は1,833億6,222万円、歳出は1,770億3,789万円で、歳入・歳出の款別構成状況は、2ページ・3ページのグラフのとおりです。  
 なお、表中の各金額は万円未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

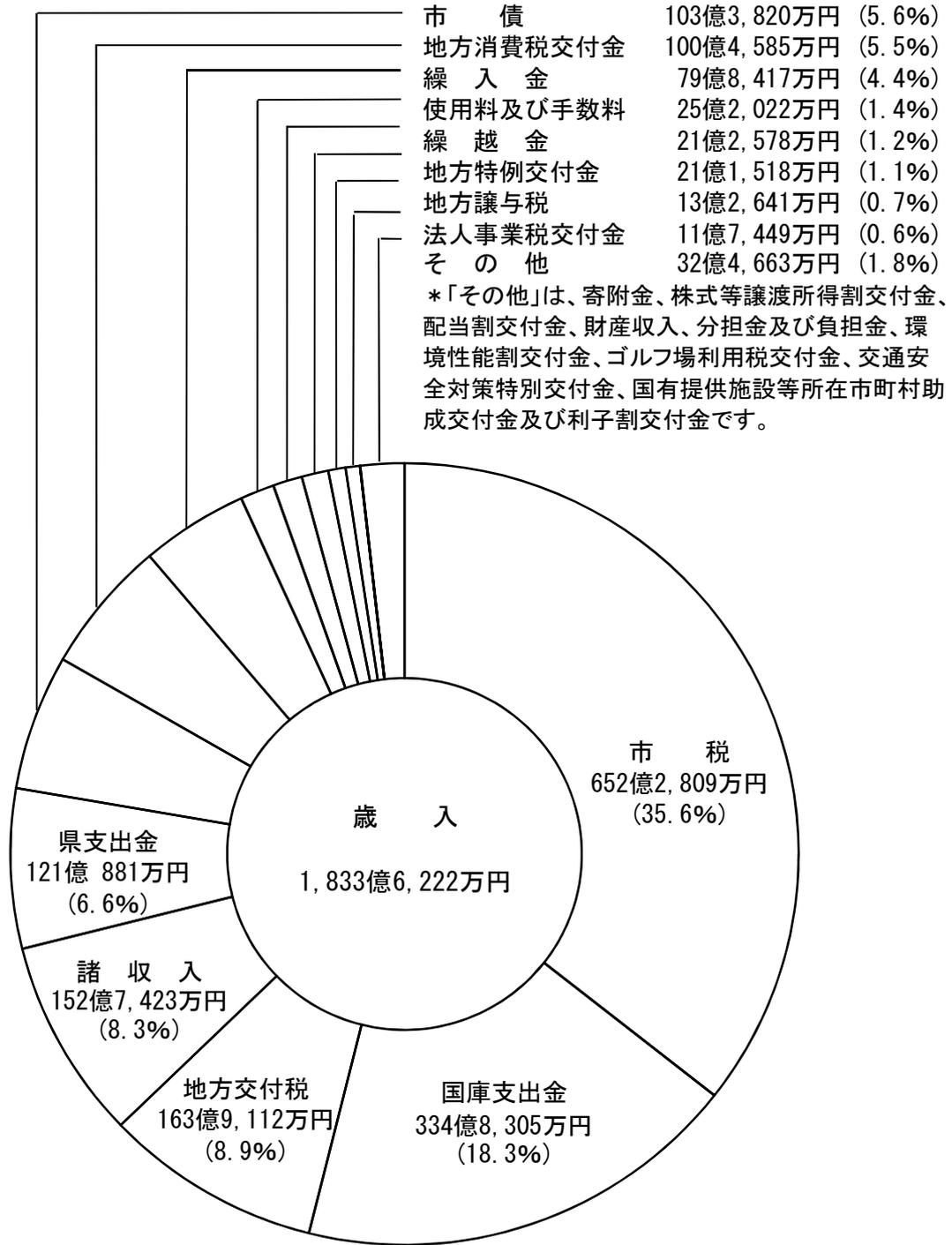
一般会計・各特別会計歳入歳出決算一覧表

(単位：万円)

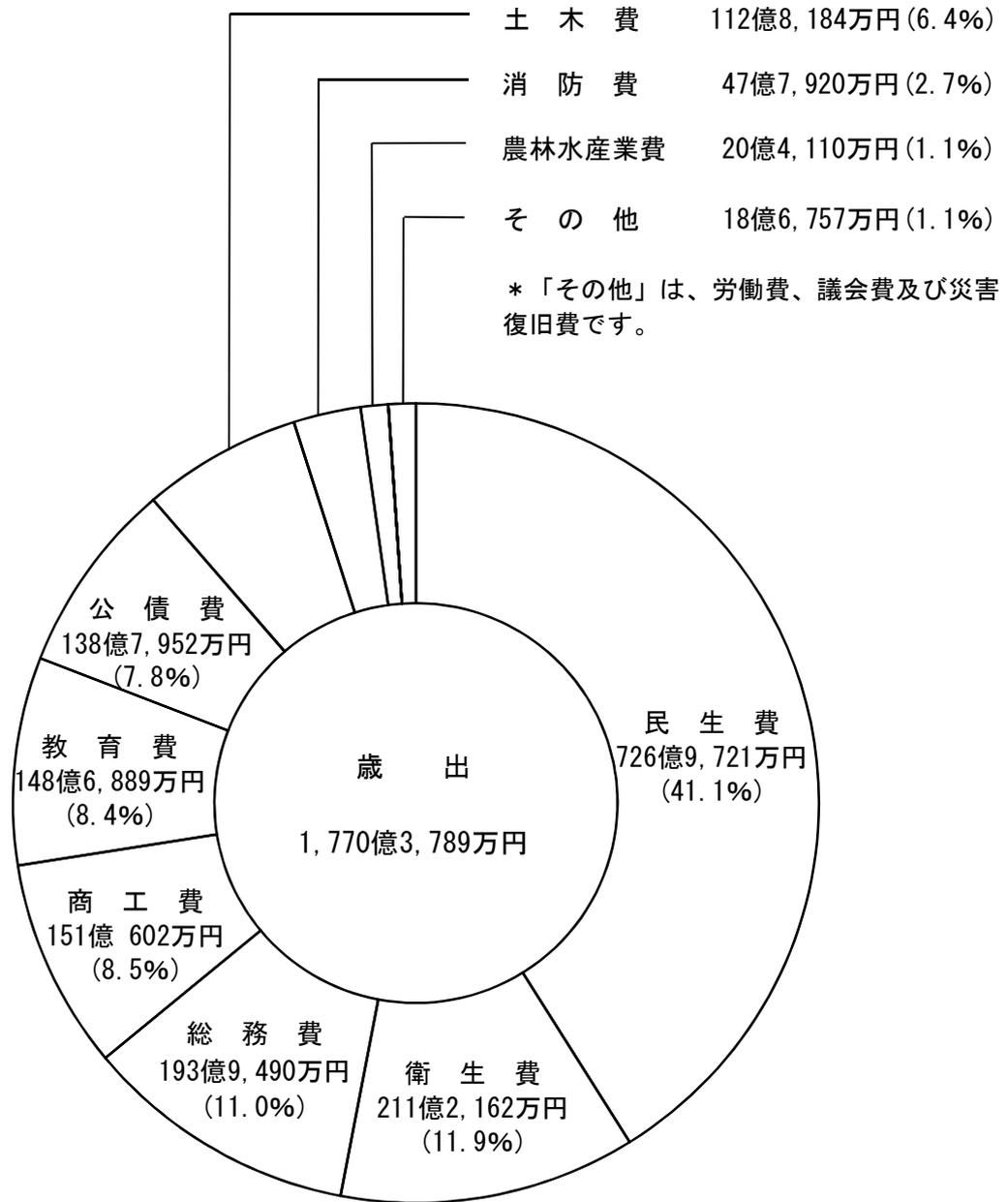
区 分	当 初 予 算 額	決 算 額	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計	1,682億9,000	1,833億6,222	1,770億3,789
特 別 会 計	778億4,825	800億9,615	792億4,250
国民健康保険事業	341億 152	344億 491	342億 505
介護保険	371億8,426	389億7,598	384億8,452
牛伏ドリームセンター事業	1億2,533	1億7,448	1億5,226
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	1億3,991	1億4,663	7,469
後期高齢者医療	61億8,758	62億7,945	62億1,515
農業集落排水事業	1億 966	1億1,471	1億1,083
合 計	2,461億3,825	2,634億5,837	2,562億8,039

# 一般会計歳入・歳出決算額の款別構成状況

## 【歳入】



# 【歳出】



- ◎ 歳入決算額 1,833億6,222万円 (A)
- 歳出決算額 1,770億3,789万円 (B)
- 差引額 (A) - (B) = 63億2,433万円

※差引額のうち、翌年度へ繰越すべき財源として、繰越明許費繰越額の4億689万円を繰越し、さらに財政調整基金へ40億円積み立て残りの19億1,744万円を翌年度への繰越金としました。

## 2 普通会計による決算状況

※普通会計とは、他の地方公共団体（県や市町村）などと比較しやすいように、「一般会計」と「特別会計のうち公営事業会計以外の会計」を総合してひとつの会計としてまとめ、全国共通の基準に調整した会計です。

### 歳 入

(単位：万円)

区 分	令和6年度			令和5年度		
		構成比	伸 率		構成比	伸 率
		%	%		%	%
1 市 税	652億2,809	35.6	△0.1	653億1,221	35.2	1.6
2 地方譲与税	13億2,641	0.7	1.0	13億1,316	0.7	0.9
3 利子割交付金	2,434	0.0	36.3	1,785	0.0	△17.8
4 配当割交付金	4億8,371	0.3	44.6	3億3,459	0.2	19.0
5 株式等譲渡所得割交付金	6億5,393	0.4	54.3	4億2,388	0.2	98.2
6 法人事業税交付金	11億7,449	0.6	11.6	10億5,268	0.6	8.7
7 地方消費税交付金	100億4,585	5.5	4.1	96億4,951	5.2	△0.1
8 ゴルフ場利用税交付金	9,828	0.1	△2.3	1億 64	0.1	△10.5
9 自動車税環境性能割交付金	1億8,847	0.1	1.7	1億8,531	0.1	28.5
10 国有提供施設等助成交付金	2,489	0.0	△5.3	2,628	0.0	△4.2
11 地方特例交付金	21億1,518	1.2	356.0	4億6,385	0.3	0.5
12 地方交付税	163億9,112	8.9	7.4	152億6,559	8.2	5.8
普通交付税	142億3,715	7.7	8.4	131億3,128	7.1	6.8
特別交付税	21億5,397	1.2	0.9	21億3,431	1.1	0.2
13 交通安全対策特別交付金	6,606	0.0	△7.1	7,108	0.0	△7.9
14 分担金・負担金	3億6,148	0.2	△7.2	3億8,951	0.2	8.1
15 使用料・手数料	25億3,475	1.4	△0.6	25億5,099	1.4	1.4
16 国庫支出金	333億7,993	18.2	△0.1	333億9,994	18.0	△5.0
17 県 支 出 金	122億 634	6.7	4.9	116億3,802	6.3	5.4
18 財 産 収 入	1億9,732	0.1	△34.0	2億9,899	0.2	72.2
19 寄 附 金	10億 867	0.5	153.1	3億9,847	0.2	3.0
20 繰 入 金	79億6,858	4.3	12.7	70億7,272	3.8	32.9
21 繰 越 金	22億3,392	1.2	△28.8	31億3,546	1.7	△13.6
22 諸 収 入	153億9,765	8.4	△12.4	175億8,438	9.5	△9.4
貸付金元利収入	112億8,868	6.2	△20.0	141億 713	7.6	△10.7
23 市 債	103億3,820	5.6	△29.2	146億 620	7.9	40.8
合 計	1,834億4,764	100.0	△1.0	1,852億9,133	100.0	2.7

歳 出

(単位：万円)

区 分	令和6年度			令和5年度		
		構成比	伸 率		構成比	伸 率
		%	%		%	%
1 人 件 費	248億6,679	14.0	7.7	230億8,073	12.9	△2.5
うち職員給	142億 538	8.0	2.9	138億 971	7.7	1.9
2 扶 助 費	472億3,513	26.7	7.7	438億6,560	24.4	3.3
3 公 債 費	138億7,952	7.8	△2.1	141億7,772	7.9	0.1
4 物 件 費	240億6,144	13.6	5.6	227億9,113	12.7	△3.8
5 維 持 補 修 費	10億2,518	0.6	△32.3	15億1,395	0.8	△2.9
6 補 助 費 等	181億4,317	10.3	△5.1	191億2,048	10.7	△9.6
7 積 立 金	20億6,169	1.2	△14.6	24億1,526	1.4	16.9
8 投 資 ・ 出 資 金						
貸 付 金	110億8,093	6.2	△20.2	138億8,345	7.7	△10.8
うち貸付金	110億5,662	6.2	△20.2	138億5,875	7.7	△10.8
9 繰 出 金	134億3,500	7.6	1.9	131億7,953	7.3	3.3
10 普 通 建 設 事 業 費	212億6,253	12.0	△16.7	255億1,198	14.2	63.7
うち補助事業費	114億7,462	6.5	△25.6	154億3,021	8.6	131.3
うち単独事業費	97億8,790	5.5	△2.9	100億8,177	5.6	13.0
11 災 害 復 旧 費	—	—	皆減	1,758	0.0	△67.7
合 計	1,770億5,137	100.0	△1.4	1,795億5,741	100.0	4.0
歳 入 歳 出 差 引 剩 余 金	63億9,627	—	11.6	57億3,392	—	△24.9

3 令和6年度普通会計による県内他市との比較

(単位：万円)

区 分		高崎市	前橋市	桐生市	伊勢崎市	太田市
人口 ( R7.3.31 現在 )		364,634人	328,063人	100,513人	211,651人	222,763人
歳 入 総 額		1,834億4,764	1,590億8,545	611億9,141	971億2,021	1,006億4,446
歳 出 総 額		1,770億5,137	1,546億1,859	570億7,381	933億1,035	969億5,996
実 質 収 支		59億8,938	36億 563	32億 783	31億4,020	26億7,590
実 質 収 支 比 率		6.6%	4.5%	12.1%	6.7%	5.4%
経 常 収 支 比 率		97.3%	94.5%	95.9%	96.7%	87.8%
地 方 債 現 在 高		1,456億8,135	1,410億8,339	412億2,083	614億3,314	538億3,162
実 質 公 債 費 比 率		4.3%	7.9%	3.8%	5.2%	5.3%
将 来 負 担 比 率		41.0%	55.5%	—	7.9%	25.6%
財 政 力 指 数		0.812	0.775	0.547	0.804	0.946
積 立 金 現 在 高	財 政 調 整 基 金	42億5,868	86億6,766	45億 706	77億1,666	158億4,838
	減 債 基 金	55億1,363	26億9,538	9億7,883	16億8,787	14億5,003
	そ の 他	40億4,498	32億3,676	74億5,908	61億1,675	5億2,183

※用語の説明

実 質 収 支	歳入から歳出を差し引いた額を「形式収支」といいますが、この「形式収支」から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた決算額のことをいいます。
実 質 収 支 比 率	標準財政規模に対する実質収支の割合です。
経 常 収 支 比 率	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般財源収入額のうち経常的な経費に充当される一般財源の割合で、比率が高いほど財政運営が硬直化していると考えられます。
実 質 公 債 費 比 率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、市債の元利償還金及びこれに準ずる経費の標準財政規模に対する比率です。この比率が25%以上になると早期健全化団体、35%以上で財政再生団体となります。
将 来 負 担 比 率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。市町村では、350%以上になると財政の早期健全化を図ることとなります。
財 政 力 指 数	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3カ年平均値で、数値が1に近いあるいは1を超えるほど財政力が強いとされています。
財 政 調 整 基 金	突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置された基金です。また、決算剰余金が多いときは積み立て、財源不足時に取り崩すという年度間の調整的な役割も果たします。
減 債 基 金	市債(借金)の償還(返済)の増加に備えるために設置される基金です。公債費が他の経費を圧迫するような場合には、この基金を取り崩して公債費に充てます。